

事務事業マネジメントシート(令和 6年度実績と令和 7年度計画)

令和 7年 9月 8日 更新

事務事業名		電算システム運用事業			<input type="checkbox"/> 安全・安心に暮らせるまちづくりの推進 <input type="checkbox"/> 「こどもまんなか社会」の構築 <input type="checkbox"/> 産業の共生による市経済の持続的発展	
総合計画体系	政策	1	自治の健全		所属部	市長公室
	施策	2	行政経営の推進・改革		所属課	企画課
	業務分野	6	デジタル化の推進		所属班	デジタル化推進班 (内線) 1262
予算科目	会計一般	款 2	項 1	目 16	事業連番 11451	法令根拠 合志市電子計算組織の管理運営に関する規則
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 6年度で終了 <input type="checkbox"/> 6年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 21 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化・関係者からの意見や要望を含む)	合志市ネットワークシステム「基幹系(住民記録、税、福祉情報等)、情報系(メール等)、インターネット」の安定した運用を行う。基幹系システムについては、経費削減等を目的としたASP事業(事業者が設置・管理するサーバにアクセスし、事業者から提供される各種システムを利用するもの)にて平成22年度より運用している。 ・機器、システムの保守・賃貸借契約の締結 ・職員からのトラブル、問い合わせ対応 ・法改正等によるシステム導入、システム改修の手続き ・機器、システムの定期的な更新手続き ・電算出力帳票の管理、発注 ・各種消耗品(プリンタ等)の管理 ・DX推進に関する取組(合志市DX推進指針) ・情報システムの標準化・共通化およびガバメントクラウドへの移行
【業務の流れ】	①基幹系業務については民間業者と長期の利用契約締結。 ②民間業者にシステム保守を委託し、運用管理を行う。 ③各課より依頼のあった業務処理(システムの使用法や帳票出力処理など)を行う。 ④システムに異常がないかの確認・点検を毎朝行う。 ⑤出力帳票の発注・管理、プリンタなどの消耗品の管理を行う。 ⑥DX推進に関する庁内の取りまとめの情報収集を行う。 ⑦情報システムの標準化・共通化に伴う全体の進捗状況の確認と移行計画の作成を行う。
【主な予算費目】	職員手当等(時間外勤務手当、休日勤務手当)、需用費(消耗品費、修繕費、印刷製本費)、役務費、委託料、使用料及び賃借料、備品購入費、負担金補助及び交付金

(1)事務事業の振り返り・計画	
①6年度事務事業の成果・実績	
全庁的なシステム管理として、プリンタトナー等消耗品の在庫管理、サーバ等の機器保守、コンビニ交付用メールシーラ等の帳票の発注・管理を行い、インターネットプロバイダ使用料、回線使用料の支払いを行った。 また、総合行政システムサポート業務、サーバ及びネットワークシステム保守業務でシステム保守を実施し、インシデント発生に備えて、定期的にサーバ等の管理・点検を実施している。 今年度のシステム更改事業として、令和7年4月からの第5次総合行政ネットワークへの切り替えに向けた機器調達を行った。また、令和7年11月の情報システム標準化・共通化に向けて契約・運用・連携業務のシステム整理などを行い業務フローの見直しを行った。 DX推進の取り組みとしては、公式LINE機能を拡充し、ごみ分別の検索機能、避難所検索機能を実装したサービスを開始した。また、生成AIの導入及び活用方法について検討を行った。デジタルデバイス対策として移動型スマホ教室『スマホサボ号』(令和6年度:20回32名)、スマートフォン教室(令和6年度:20回183名 令和5年度:25回198名)、スマホお助け相談窓口(令和6年度:25回411名 令和5年度:20回184名)を実施した。	
②7年度計画(次年度に計画している主要内容)	③予算の主な増減の理由
・情報系及び基幹系に民間業者にシステム保守委託。 ・情報系及び基幹系システムの業務処理支援、各種帳票の作成、情報系及び基幹系に民間業者のシステムエンジニア(SE)による業務処理支援を委託、帳票の発注・管理を行う。 ・消耗品等の在庫管理、帳票の発注・管理を行う。 ・情報システムの共通化・標準化に向け、ガバメントクラウド環境の構築及び整備を行う。 ・市民課窓口におけるフロントヤード改革(窓口利用体験調査の実施) ・公式LINE機能によるオンライン申請及びメニューの拡充。 ・第5次LGWAN回線の切替 ・中間サーバ第3次システムへの更改	自治体標準化・共通化システム関連業務委託に伴う委託料の増
成果指標	(単位) データ取得方法
ネットワーク・機器・システムトラブル件数	件
不具合・トラブル対応率	%

(2)成果指標・総事業費の推移		単位	4年度	5年度	6年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
			実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
成果指標	件	2	3	0	0	0	0	0	0	0
	%	100	100	100	100	100	100	100	100	0
事業費	国庫支出金	千円	1,895	1,889	800	5,592				
	都道府県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円	3,993	10,250	8,327	8,526	37,645			
	繰入金	千円								
	一般財源	千円	276,905	200,573	212,018	201,816	332,383	241,670	326,674	240,350
(A)事業費計	千円	282,793	212,712	221,145	215,934	370,028	241,670	326,674	240,350	

(3)評価の総括(成果向上の余地・事業費削減の余地)
 令和4年度はサーバ機器更改を実施した。令和5年度グループウェア及び端末の更新を実施した。令和6年度は総合行政ネットワーク(LGWAN)関係機器の更新を行った。令和7年度は第5次総合行政ネットワーク(LGWAN)移行に伴うガバメントクラウドへの接続を予定している。また、修理費用の削減については、引き続き職員に機器取扱いに関する周知を行う。

(4)今後の事業の方向性	
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	